

カキノヘタムシガに注意

発生量	やや多い
発蛾最盛期樹あたり発生量 本年：1.8頭（平年：4.2頭） 発蛾最盛期 本年：7月16～23日（平年：7月20日） 被害果率 本年：0.8%（平年：0.3%）	

岐阜市木田で行ったカキノヘタムシガ第1世代の見取り調査では、本年は7月17日(1.8頭)、7月21日(1.6頭)にピークが認められました(図)。平年のピークは7月20日で、発生時期は平年並み、発生量は平年より少ないと考えられますが、7月下旬の現地調査(4ほ場)での被害果率は平均0.8%(平年0.3%)と平年より多く認められました(表)。

発蛾最盛期3～10日後頃より果実への食入が始まるため、防除適期は7月下旬～8月上旬頃と予測されます。また、本年はピークの期間に幅があることから、1回のみの防除では不十分な可能性があります。長期残効が期待できる薬剤を選択するか、1回目の防除から7～10日後に追加防除を実施してください。

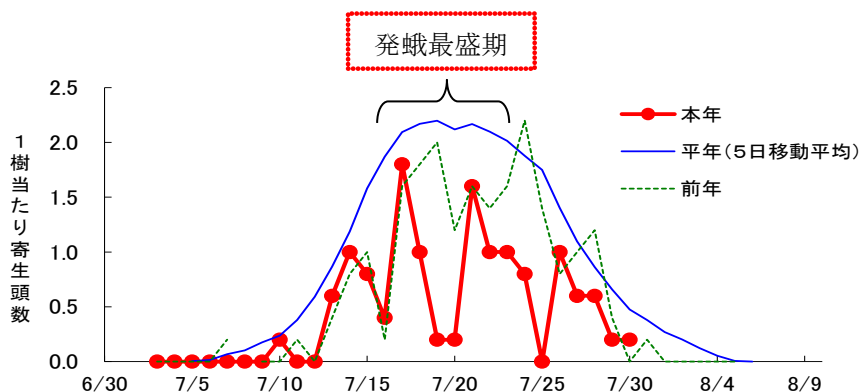


表 令和3年7月下旬カキノヘタムシガによる果実の被害状況調査

調査地点	被害果率(%)	
	本年	平年
岐阜市則松	0.0	0.1
岐阜市東秋沢	0.0	0.0
本巣市屋井	0.0	0.8
大野町下座倉	3.3	0.1

図 令和3年度カキノヘタムシガ成虫見取り調査結果(調査地点：岐阜市木田)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>